富士に生きる―紙のまちの歴史と文化―
富士市立博物館
FUJI MUNICIPAL MUSEUM

博物館だより

2016 3.24 67号

富士市制 50 周年記念

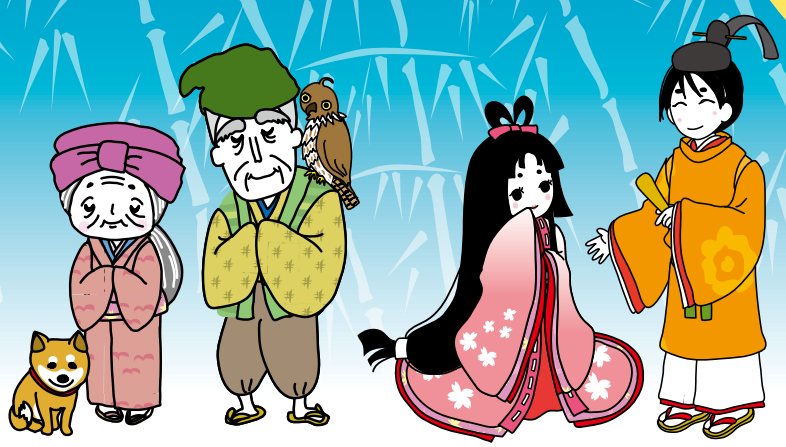
富士山かぐや姫ミュージアム

OPEN!!

2016.4.29 金祝

富士山に帰るかぐや姫の物語を展示する

世界でただひとつのミュージアム



無料観覧

★★★★★★★富士山かぐや姫ミュージアム　7つの目玉★★★★★★★

当博物館は、およそ１年間をかけて本館の耐震リニューアル工事をおこなってまいりましたが、「富士山かぐや姫ミュージアム」の愛称も決まり、４月 29 日(金曜祝日) 14 時よりオープンいたします。ここで、リニューアルの７つの目玉を簡単に御紹介します。

①施設を全面改装し、展示・公開エリアをおよそ 1.5 倍に拡充しました。②映像展示を積極的に導入しました。③富士南麓の富士山信仰や富士山関連展示の充実を図るとともに、「富士山のかぐや姫物語」のコーナーを新設しました。④通史展示をリファインし、併せて「富士川の舟運と渡船」のコーナーを新設しました。⑤ライブラリーやミュージアムショップを新設しました。⑥広見公園から直接入館できるエントランスを新設しました。⑦これが最大の目玉ですが、観覧料が原則無料となりました（常設展のほか企画展等も無料、特別展はその都度決定)。

みなさまの御来館を職員一同心よりお待ちしております。

（館長　木ノ内 義昭）

富士市立博物館
リニューアルオープンへの道

2015年5月に博物館本館が耐震リニューアル工事のための休館期間に入り、10ヶ月が経ちました。その間、歴史民俗資料館やふるさと村歴史ゾーンは今まで通り開館していますが、本館やバックヤードでは、着々とリニューアルオープンのための準備を進めております。ここでは、そんな博物館の舞台裏をちょっとだけお見せしたいと思います。

引っ越し（2015年6月）

リニューアルオープンへの道のりは、引っ越しに始まり、引っ越しに終わるといっても過言ではありません。まず、工事に入る本館をできるだけからっぽにするため、展示物や収蔵品を歴史民俗資料館や外部収蔵庫、小学校の余裕教室などへ運び出しました。旧富士川歴史資料館に保管していた資料もこの機会に引っ越したのですが、ここでの一番のハイライトは、富士川渡船の復元平田船の搬出です。国道を走る車の流れをしばし止めて、なんとかトラックに積み込むことができました（写真①）。

2016年4月には一度外に出した荷物を本館へ運び入れる作業が残っています。無事にオープンできるかどうかは、この最後の引っ越しにかかっているのです。

耐震工事（2015年7月～2016年2月）

そもそも今回のリニューアル計画は、地震に強い博物館にするための補強工事が必要になったのをきっかけに、展示の中身も見直してみては？という発想から生まれたものです。ですから、あくまで耐震工事が主役であり、期間も長いです。その間、博物館は白いフェンスで囲まれ、工事中は近隣のみなさまにもご迷惑をお掛けしました（写真②・⑤）。工事前と後で外観のどこが変わったのか、博物館ファンのみなさまなら、すぐにわかりますね（ヒント：色と形）。

出張展示（2015年7月～2016年3月）

長い工事期間中、博物館の職員ってヒマなの？と思

①

②

③

①旧富士川歴史資料館の収蔵品引っ越し風景（2015年6月），②耐震工事が始まった本館（2015年7月），③富士かぐやモバイルミュージアム in 富士川楽座（2015年7月）

④

⑤

④モバイルミュージアム in アピタ吉原店での愛称選挙（2015年10月），⑤耐震工事が進むライブラリー（2015年10月）

われたり、博物館自体が忘れられたりしないように、市内各地で出張展示企画「富士かぐやモバイルミュージアム」を開催しました（写真③）。富士川楽座（東名富士川SA）にはじまり、新富士駅、市立中央図書館、吉原宿場まつり、アピタ富士吉原店、ロゼシアター、富士市教育プラザをまわり、富士山とかぐや姫の物語や新博物館のPRをしています。リニューアル記念プレシンポジウム「富士山とかぐや姫～そのつながりを探る」（11/14、富士市役所）とあわせて、市内外の多くのみなさまに、富士山とかぐや姫の意外なつながりを知っていただけたのではないか思います。

7～10月の展示会場では、新しい博物館の愛称を募集するアンケートや選挙をおこない（写真④）、12月には「富士山かぐや姫ミュージアム」という愛称が決まりました。

市立中央図書館の会場では、「日常の中の富士山 市民と一緒に展示づくり」（11/3）もおこなっています（写真⑥）。これは、事前に募集した富士山と人物の写真を素材に、撮影者の思い出の聴き取り調査や展示キャプションをつくるといった学芸員の仕事を市民のみなさまに体験していただくワークショップです。ここでの成果物は、オープン後の博物館に実際に展示されます。展示制作会社の（株）乃村工藝社のスタッフの方々のご尽力もあり、以前の富士市立博物館には見られなかった、新しい市民参加型の展示となりました。

展示工事・作業（2016年2月～4月）

耐震工事が終わると、ついに展示工事が本格的に始まります。具体的には、直前まで積み上げてきた展示設計をもとに、内装工事や展示ケース、展示パネルの設置などがおこなわれます。マネキン、ジオラマといった造形物を製作する作業のほか、映像展示に使うナレーションの録音も展示作業の一環になるので、これらは工事に先行して進められました（写真⑦～⑨）。内装工事が終わると、実際の資料やキャプションを展示し、完成です。いよいよ生まれ変わる博物館に、ご期待ください（写真⑩）。

（藤村 翔）

⑦

⑥

⑥市民と一緒に展示づくりワークショップ（2015年11月）
⑦都内某スタジオでのナレーション録音（2015年12月）

⑧

⑨

⑩

⑧村山修験マネキンの製作（2015年12月），⑨影絵をつかった新展示の試作（2015年12月），⑩耐震工事をほぼ終えた博物館（2016年1月）

展示会案内

■　オープン記念展　富士のある風景

H28. 4/29（月祝）～6/19（日）

■　答礼人形「富士山三保子」里帰り展

H28. 4/29（月祝）～5/ 8（日）

■　富士へつながる海の道－吉原ミナトの交通史－

H28. 7/ 2（土）～9/25（日）

各種イベント・体験講座案内

◆　農家の食と年中行事

旧稲垣家住宅において、さまざまな年中行事を体験することで、富士山麓に生きてきた人々の暮らしを感じてみませんか？

①H28. 5/ 8(日)　新茶手もみと柏餅作り
②H28. 7/ 2(土)　七夕飾り作りとそうめん
③H28. 8/21(日)　そばの種まきと茹で落花生作り
④H28. 9/11(日)　月見団子作り
⑤H28.10/30(日)　そばの収穫とかまど飯
⑥H28.11/26(土)　そばの脱穀・製粉と干し芋作り
⑦H28.11/27(日)　そばうち
※⑤～⑦は連続３回講座
⑧H28.12/23(金祝)　もちつきと注連縄作り
⑨H29. 1/ 9(月祝)　繭玉作りと小豆粥
⑩H29. 3/18(土)　牡丹餅作り

各回とも原則　9：00～13：00

定員　・固定枠（全 10 回参加一括申込み）
→小学生とその保護者　５組約 10 名程度
・フリー枠（各回申込み）→各回 10 名程度

※申込み方法、日時等詳しくは「広報ふじ」をみるか、博物館へ直接お問い合わせください。

◆　手作り和紙工芸

①漉き込みうちわ作り

日時　H28. 6/26(日)　9：00～12：00
定員　小学生以上（小学４年生以下は保護者と参加）
先着 20 名
申込み　6/ 7(火)　9:00～　電話または直接来館

◆　ミニミニはにわ作り

日時　H28. 7/18（月祝）　9：00～12：00
定員　年少～小学生の親子 15 組 30 名程度
（小学４年生以上は一人でも参加可能）
申込み　7/ 9(土)　9:00～　電話または直接来館

◆　チャレンジ！！陶芸＆陶芸歳時器

「チャレンジ！！陶芸」は、偶数月の第 2･4 土曜日（2 回講座）、「陶芸歳時器」は奇数月の第 2 土曜日に開催しています（※５月はお休み）。気軽に陶芸を楽しもう！

◆　かやぶき農家の癒しのおんがく会

各月（4・8 月を除く）第 3 日曜日、旧稲垣家住宅で開催
原則 13：30～15：30、入場無料

◆　博物館まつり

日時　H28. 5/14（土）　10：00～15：00

漉き込みうちわ作りの様子

◎各講座、イベントともに内容・日時が変更する場合もあります。詳細は博物館ウェブサイトやチラシ、広報ふじなどで御確認ください。

富士市立博物館だより　No.67

発行年月日　平成 28 年（2016）3 月 24 日
編集・発行　富士市立博物館　Fuji Municipal Museum
印　　刷　文光堂印刷株式会社

住 所・連絡先　〒417-0061　静岡県富士市伝法 66-2　TEL.0545-21-3380　FAX.0545-21-3398
HP. http://museum.city.fuji.shizuoka.jp/　E-mail. museum@div.city.fuji.shizuoka.jp

開 館 時 間　4 月～10 月：9:00～17:00　11 月～3 月：9:00～16:30
観　覧　料　無　料　※本館は 4 月 28 日まで工事のため休館しております。
休　館　日　月曜日（祝日の場合は開館）、祝日の翌日、12/29～1/3（年末年始）
歴史民俗資料館（　分　館　）　開館時間・休館日は本館に同じ　観覧無料
博物館屋外展示（ふるさと村）　休館日なし　観覧無料

このリーフレットは、再生紙と植物油インクを使用しております。